



9月

令和3年9月1日

ちびっこの森通信 vol.52

☆☆今月のテーマ☆☆

- ・気温の変化に応じて、健康に過ごせるようにする。
- ・友だちと一緒に体を動かし遊んだり自然に親しむなか、秋の訪れを感じる。



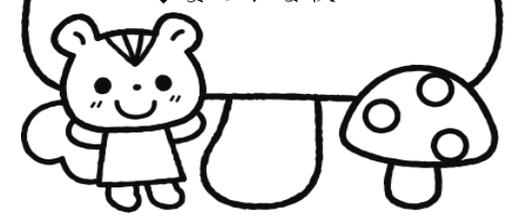
～今月の園内学習～

- ・足し算…7の段
- ・掛け算…7の段
- ・絵画カード…「黄色いキリスト」など
- ・声に出して読みたい日本語…「金色夜叉」「数かぞえ唄」
- ・歴史カード…「田沼意次」ほか
- ・国旗カード…アジア
- ・地理カード…中部地方



♪今月の歌♪

- ◇とんぼ
- ◆きのこ
- ◇どんぐりころころ
- ◆まっかな秋



★保育のワンポイント★

世界的にバイオリンの早期才能教室で有名な鈴木鎮一先生の基本理念「どの子も育つ、育て方ひとつ」とは、才能は生まれつきではなく、こどもの“無限の可能性”を信じ「親・指導者（ここでは、保育者）・本人」の三者が力を合せて、その成長をサポートできることを意味しています。今後の保育に生かしていきたい点だと思しますのでよろしくお願ひします。

～行事予定～

- ・書道教室…2・9・16・30日
- ・英語教室…14日
- ・リミック教室…6日〔未満児〕
21日〔以上児〕
- ・体操教室…先生の都合から未定です
- ・避難訓練…24日
- ・身体測定…16日〔未満児〕
17日〔以上児〕
- ・誕生日会…27日
- ・内科検診…コロナ感染予防対策として延期



0～1歳児だより



ムツとする残暑ながらも朝夕の涼しいそよ風に季節の移ろいを感じる今日この頃。こどもたちは猛暑をものともせず“水遊び”などでクールダウンし、元気に過ごすことができました。とは言え、当初は“水”恐怖症にはまっていたのですが、徐々に慣れ親しむようになってきました。その後は“氷”や“スポンジ”等の感触遊びも加わって遊びの幅も広がり、さらに水遊びを満喫しているようでした。そんな遊びの中、お互いの名前を呼び合ったり、玩具を指差してアイコンタクトでコミュニケーションを図ろうとしたりと、交友関係の幅も広がろうとしています。そんな日々の成長や変化を傍で微笑ましく感じながら、体調管理に気を配り、楽しく元気に過ごしていけるようにしたいと思います。



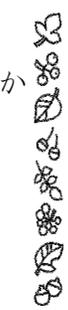
2～3歳児だより



水遊びや夏まつりと思い出の一杯の今夏も日中の和らぎつつある日差しから季節の移り変わりを感じるようになりました。“夏まつり”では、こどもたちの中では焼きそば屋ごっこが大人気。担当の2歳児の(何処で覚えたのか)器用なへら使いは一見の価値レベルで大盛り上がりの一因でした。その余韻は今も冷めやらぬ様で“お店屋ごっこ”のブームは当分続く気配です。その傾向は、3歳児たちのごっこ遊びでも同様ですが、注目はお客の呼び込み等の声かけの仕方をお互いに打合せ、「こうしてみよう!」などの一工夫する様子があったのは見逃せない点だと思います。それはイベント後の遊びの中でも継続されており、何かする際にはお互いのことを尊重し、コミュニケーションを取る姿勢に着実な成長を感じます。残暑はまだまだ続くようですので引き続き、こまめな水分補給に加え、手洗いやうがいの励行に努め、熱中症や感染症対策に万全を期し、元気に過ごしていけるようにしたいと思います。



4～5歳児だより



ギンギン、キラキラの太陽の勢いにも多少、迷いが出て来ているようなので「ホッ」と一安心です。先月、年中&年長児は夏まつりのたこ焼き、金魚すくいやカキ氷屋などの各種屋台づくりに当たり、「どうしたら本物らしく見えるか」などの構想を練るところからスタートし、かなりの熱の入れようだったのが印象的でした。当日は、お店側とお客側に別れ、みんなが考えた“お店屋ごっこ”がスタート。その画期的な試みの一つが引渡券で、今回のお店屋ごっこにいい活気づくりに役立っていました。みんなの頑張りで大盛況となったのは言うまでもありません。暑～い夏の強い味方は何と言っても、水遊びで水鉄砲などでの水の掛け合いで大変な盛り上がりを見せ、いいクールダウンにもなっていました。そんな遊びの最中であっても、プランターの夏野菜に水やりを欠かさなかったり、野菜の成長ぶりにも関心を寄せるなど繊細なところを持ち合わせるの素晴らしいことだなぁ～と感じています。まだまだ残暑さは油断できませんので暑さと感染症の二方面に睨みをきかせて元気に過ごしていけるようにしたいと思います。



給食だより

～秋はお芋で元気一杯!～



日本には四季があり、その時季それぞれの旬の食材を楽しむことができます。げっそりしそうな夏の暑い夏から多少、涼しくなって過ごしやすい秋にまもなくバスタッチされますね。旬の食材には、大地のエネルギーをたっぷり含み、豊富な栄養成分で私たちの体調を整えてくれる効果が期待できます。また、これからは“実りの”や“食欲の”などの冠詞がつくように豊富で美味しい食材が溢れることをご承知の通りです。これらは夏の暑さで弱った胃腸を回復し、身体を温めてくれる効果があります。今回は秋の旬な食材の代表格のさつまいもをクローズアップしたいと思います。さつまいもは芋類の中でも植物繊維の含有量が一番高く、「これを食べたらおならがでる」という説があるくらいです。ですから、まずは便秘改善ができ、血圧を下げる効果が挙げられます。普通、植物繊維が多い食材はこどもには食べづらいものが多いのですが、さつまいもは食べやすいのも注目される点でしょう。また、風邪予防効果のあるビタミンCや不足がちなカルシウムも含まれています。植物に含まれるビタミンCは熱に弱いのが一般的ですが、さつまいものはでんぷんに包まれているため他の植物と比べ、その残存率が高くなっているのも支持されているところかもしれません。園でも初夏に蔓植えた(安納芋&紅はるか)さつまいもが暑さにもめげず元気に大きく育ってきているので秋口には収穫の時を迎えようとしています。この機会にお芋パワーを十二分に身体に取り入れ、夏バテを吹き飛ばしていきたいです。

